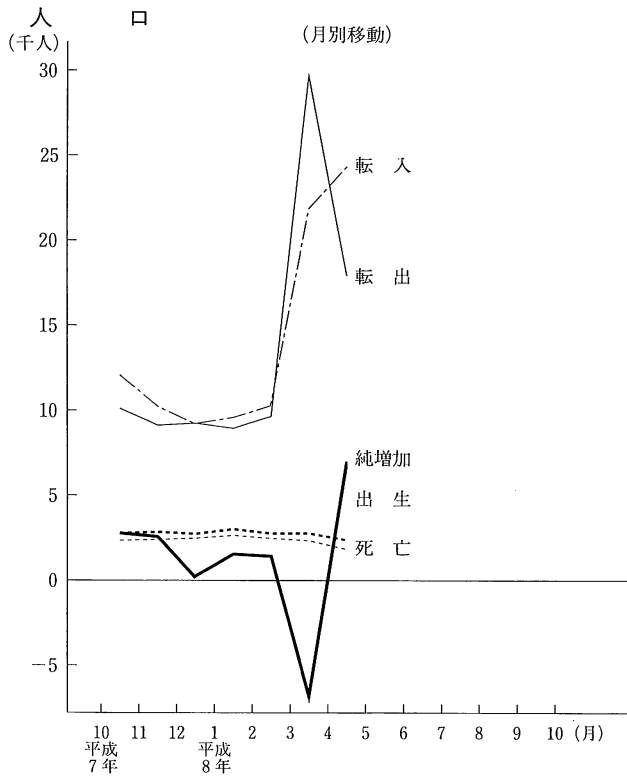
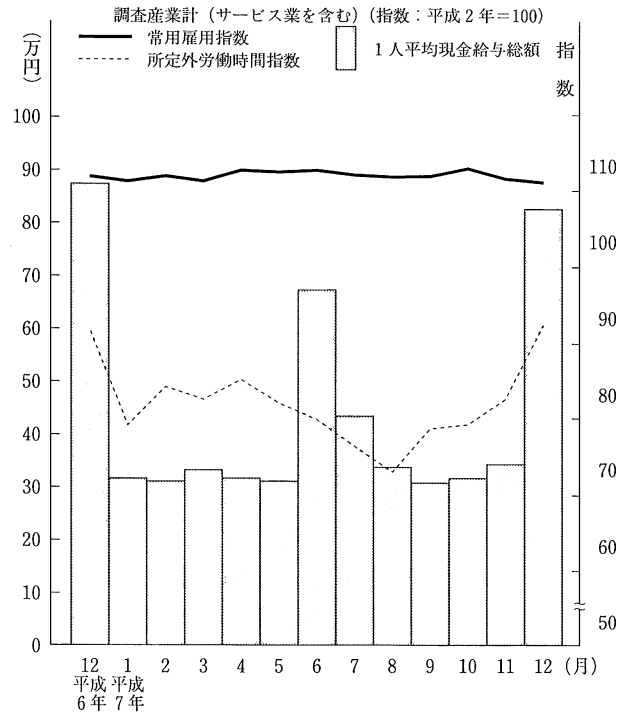


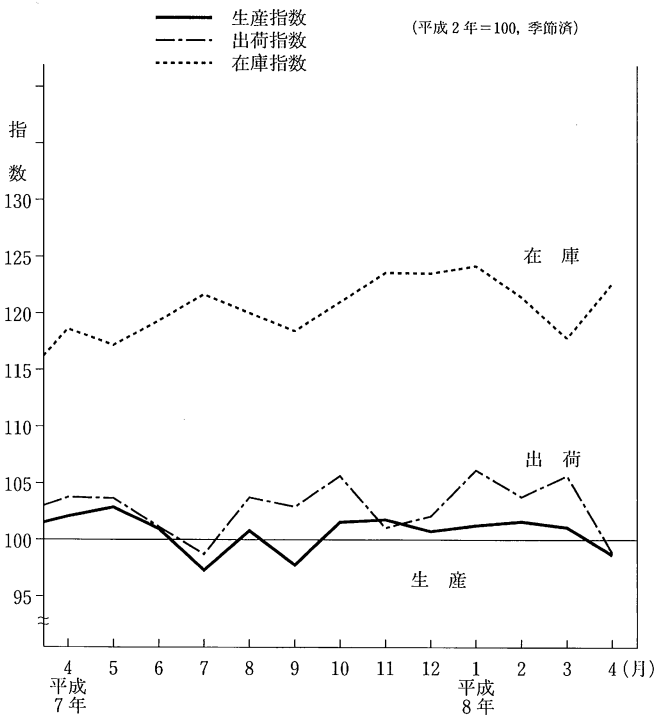
# 今月の主な動き



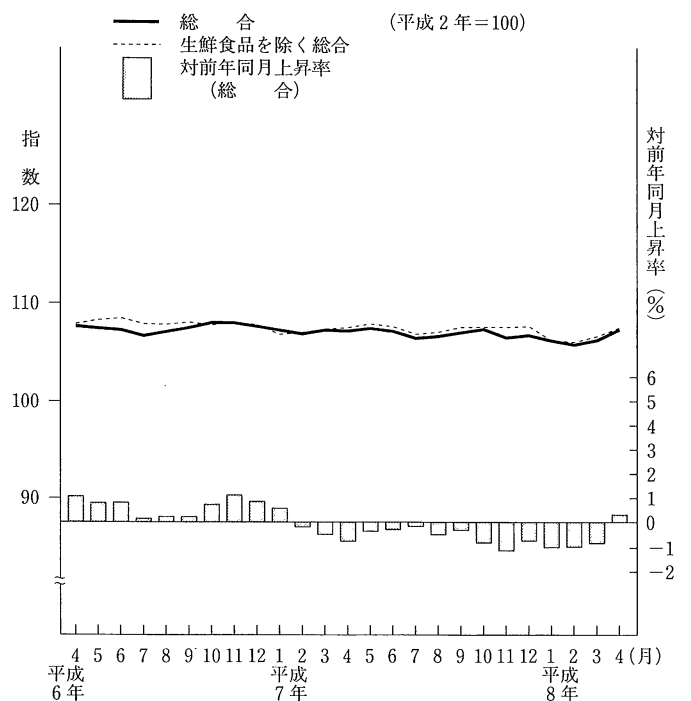
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



# 主な動きのあらまし……………企画部統計課

## ■人口（5月1日）

本県の人口は、4月中に6,906人増加し、5月1日現在で、2,961,277人（男1,479,185人、女1,482,092人）となった。内訳は、自然動態で、534人（出生2,361人、死亡1,827人）増加し、社会動態で、6,372人（転入24,326人、転出17,954人）増加した。前年同月と比べると3,569人（0.1%）の増

加である。

市町村別では、増加が17市44町村、減少が2市21町村、増減なしが1市である。

世帯数についても4月中に7,594世帯増加し、932,582世帯となった。

## ■賃金・労働時間・雇用（12月）

### 1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で821,860円、対前年同月比5.7%減、このうち、きまって支給する給与は305,132円、対前年同月比もちあいであった。また、このうち、所定内給与は275,232円、対前年同月比0.3%減であり、超過労働給与は29,900円、対前年同月比3.3%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.5%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。平成8年1月分の速報値は、平成8年抽出替えに伴うギャップを修正した後、公表の予定です。

### 2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で165.3時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は149.4時間、対前年同月比0.5%増、所定外労働時間は、15.9時間、対前年同月比もちあいであった。

### 3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.2%減であった。

## ■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（4月）

本県における平成8年4月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が98.4、出荷が98.3、在庫が122.6で、前月比は、生産が2.7%の低下、出荷が7.2%の低下、在庫が3.5%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が3.4%の低下、出荷が5.3%の低下、在庫が3.8%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉄鋼業、食料品・たばこ工業、輸送機械工業等が上昇し、化学工業、石油・石炭製品工業、一般機械工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業、輸送機械工業等が上昇

し、一般機械工業、化学工業、繊維工業等が低下した。在庫では、鉱業、電気機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。

財別にみると、生産では、耐久消費財、建設財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。出荷では、建設財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。在庫では、耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、その他用生産財が低下した。

## ■消費者物価指数（4月）

平成8年3月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で107.3（平成2年=100）となり、前月比1.0%の上昇、前年同月比0.3%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着11.2%、野菜・海藻5.9%、衣料3.5%

今月の下がった主な項目……乳卵類2.4%、教養娯楽耐久財1.8%、果物1.5%

生鮮食品を除く総合は107.5となり、前月比0.8%の上昇、前年同月比0.2%の上昇であった。

## ■費目別指数

（平成2年=100）

区 分	指数	上昇率（%）		区 分	指数	上昇率（%）	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.3	1.0	0.3	保 健 医 療	104.2	1.0	1.6
食 料	105.0	0.7	△0.1	交 通 通 信	99.1	0.4	△0.5
住 居	118.5	0.3	1.5	教 育	120.2	2.9	2.9
光熱・水道	101.4	0.1	△1.1	教 養 娯 楽	108.3	0.7	0.0
家具・家事用品	94.5	0.0	△2.8	諸 雑 費	105.2	△0.1	0.5
被服及び履物	112.3	4.6	1.1	生鮮食品を除く総合	107.5	0.8	0.2